

# 「炉端の会」のひとり言



炉端の会  
2020.12

◇模索しながらチーム活動を再開し始めたところでしたが！

10月1日より「炉端の会」の活動が再開して、1ヶ月が経過しました。活動自体は通常の状態には戻っていませんが、チーム活動も徐々に模索しながら再開し始めました。10月30日(金)の障子張りチームと広報チームの活動の様子です。

(新型コロナ第三波の為、11月20日(金)より再度、活動が休止となりました)

## ■障子張りチーム

鈴木家の障子を「炉端の会」メンバーが5名で貼替え。(場所は原家の鈴木家側の広場)  
○障子の下側を上にして(天地を逆に)、布製の帽子？を被せた上で、原家に立掛けて貼り付けスタート。

○以前貼った際の残りで適当なサイズのものがないか探したが見つからず、園の職員が、大きな和紙を、障子のサイズに3枚にカット。  
○刷毛で棧に糊を塗り、3枚の和紙を上から順に貼りました。

○貼り終わった後、霧吹きが調子が悪いため、指を水に漬けては、貼り終わった障子に向かって指を弾き、水滴を障子一面に散らしていました。

全員、マスクをし、貼る際の左右の高さ調整等、最小限の話以外は無く、黙々と作業を行っていました。

(障子張り作業の様子)



## ■広報チーム (場所: 生田緑地ビジターセンター2階)

11月に掲示するパネルの最終確認／印刷／掲示作業と12月の掲載記事の検討などの打合せを行いました。

(ビジターセンター2階での打合せの様子)



●11月3日(火・祝)には環境整備チームの方が花壇の手入れをしている姿を見かけました。本格的な活動再開までには、まだまだ時間が掛かるようです。